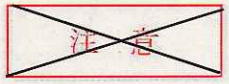


28. 9. 111800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７０１号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
　(1)　情　勢
　(2)　本日の活動成果
　(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
　(1) 本日の成果
　　活動概要
　(2) 明日の活動
　　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
　(1)　気　象
　(2)　暫定政府樹立までの主要結節
　(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　　日本隊に及ぼす影響
　(4)　部隊配置状況
　(5)　タスク現況
　(6)　警備の態勢

1　本文（要約）

凡例　赤字：変化事項

1　情　勢

(1)　全　域

ア　和平合意関連

和平合意は、キール大統領による閣僚及び顧問の指名や、タバン第１副大統領の台頭により、少しづつ進捗するものと思料。また、地域保護部隊の受け入れを、南スーダン政府が承認したことから、ＵＮＭＩＳＳとの間で具体的な勢力や空港の管轄権等についての議論が実施されるものと思料

加えて、ジュバ市内、北及び西バハル・アル・ガザル州、ジョングレイ州、ユニティ州、西エクアトリア州、中央エクアトリア州及び南スーダン国外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認さていることから、ＳＰＬＡ－ｉＯ指導部の分裂及びマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

イ　その他の情報資料

北部におけるＳＰＬＡ－ｉＯによる包囲が解かれたという情報があるものの、南部地方において、政府側勢力とＳＰＬＡ－ｉＯ等との間での戦闘は継続しており、報復及び一般犯罪は継続するものと思料。また、マシャル氏の国外逃亡により大規模な部隊移動及び戦闘の公算は低下していると見積もられるが、マシャル氏の回復及び今後の発言の如何によっては、戦闘の活発化は否定できない状況にあるものと思料

加えて、南スーダン政府が地域保護部隊の受入を承認したこと及び国連事務総長によるＵＮＭＩＳＳマンデートの実施状況報告が迫っていることから、ハラスメント発生の公算は低下するものと見積もられるが、入国の遅延、パスポート没収等は継続しており、注意が必要

(2)　ジュバ市外

ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせてはいるものの、ジュバ郊外で小規模なＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯの戦闘、また、武装集団による車両への襲撃事案が生起しており、これに伴う襲撃等が発生した地域へのＳＰＬＡ等による増援及び報復が発生していることから、注視が必要であるとともに、昼間の移動についても引き続き危険が伴う。

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあり公務員に対する給料の配給も開始されたものの、商店の閉鎖による物資の減少等、市民及び兵士の生活は厳しく犯罪等が発生しやすい状態であるとともに、市内におけるコレラ患者は減少傾向にあるものの依然として存在し、ＳＰＬＡ等による略奪、暴行等の犯罪又は検問での発砲への巻き込まれ及び衛生環境の維持には注意が必要

また、南スーダン政府が地域保護部隊の受入を承認したこと及び国連事務総長によるＵＮＭＩＳＳマンデートの実施状況報告が迫っていることから、ハラスメント発生の公算は低下するものと見積もられるが、入国業務の遅延、パスポート没収等は継続しており引き続き注意が必要、であるとともにＩＤＰ近傍での活動時の小競合いへの巻き込まれにも注意が必要

(4)　ウガンダ

２０１６年２月の大統領選及び５月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、７月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、イスラム過激派「ＩＳ（Islamic State）」がラマダンに関連したテロの呼び掛けを国際社会に向けて実施しており、９月１１日～１２日に予定されている「Eid Al Adha」の時期の渡航には、ウガンダにおいてもイスラム過激派「アル・シャバーブ」の存在が過去（２０１４年）確認されていることから注意が必要

加えて、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾、ＩＤＰの移送に伴う小競り合いへの巻込まれ及び疾病罹患の可能性があり注意が必要

また、ジュバ市内においては、デモへの巻き込まれ、ハラスメント及びＳＰＬＡによる検問周辺での流れ弾には注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては射撃が発生していることから近傍での活動には警戒が必要

２　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動（成果：１２ｔ）

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　施設活動

な　し

(ｲ)　インフラ整備

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動

ｂ　隊本部等をもって、ジュバ市内における経路偵察

(ｲ)　業務調整

な　し

(ｳ)　宿営地内活動

ａ　本部付隊をもって、宿営地維持管理業務

ｂ　各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材整備等を実施

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

エ　表敬等

　　な　し

オ　各種行事

　　な　し

カ　国際機関等連携案件

　　な　し

3　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮハウス地区及びＵＮトンピン地区給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮハウス地区西側外壁構築、メインゲート道路補修、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、ＭＯＶＣＯＮ駐車場整地、イード・アル・アドハ会場天幕撤収を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びイエイ道、グデレ道沿いでの戦闘状況を注視するとともに、ＵＮハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内及びＵＮハウス地区内における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　施設活動

a　ＵＮハウスメインゲート道路補修

第１施設小隊をもって、ＵＮハウス地区におけるメインゲートの道路補修

b　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁の構築

c　ＵＮハウス弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区内における弾薬庫の増設

d　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区内における退避壕の構築

e　ＭＯＶＣＯＮ駐車場整地

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区内におけるＭＯＶＣＯＮ駐車場の整地

e　イード・アル・アドハ会場天幕構築

隊本部等によるＵＮトンピン地区内におけるＵＮ主催行事に伴う会場の天幕撤収

(ｲ)　インフラ整備

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

a　情報班等をもって、ＵＮトンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動

b　隊本部等をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

(ｲ)　業務調整

隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内及びＵＮハウス地区内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊本部による、ジュバ空港へのＣＲＦ監察官の送迎

(ｷ)　隊本部及び広報班による、ジュバ市内及びジュバ空港における空港撮影申請

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事

(ｱ)　隊長による、ＵＮトンピン地区内バングラ工兵中隊における昼食会への参加

(ｲ)　隊長による、ＵＮトンピン地区内バングラ河川隊における昼食会への参加

カ　国際機関等連携案件

な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／５）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット	３	給水車×1、小型×1	
②	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	ネパール歩兵中隊 エチオピア歩兵大隊	３	給水車×1、小型×1	
③		情報収集	情報班		ＵＮトンピン内			

凡例　ＵＮタスク

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／５）

③	情報収集

活動概要（ＵＮハウス）（３／５）

ＵＮハウス活動部隊なし

凡例　ＵＮタスク

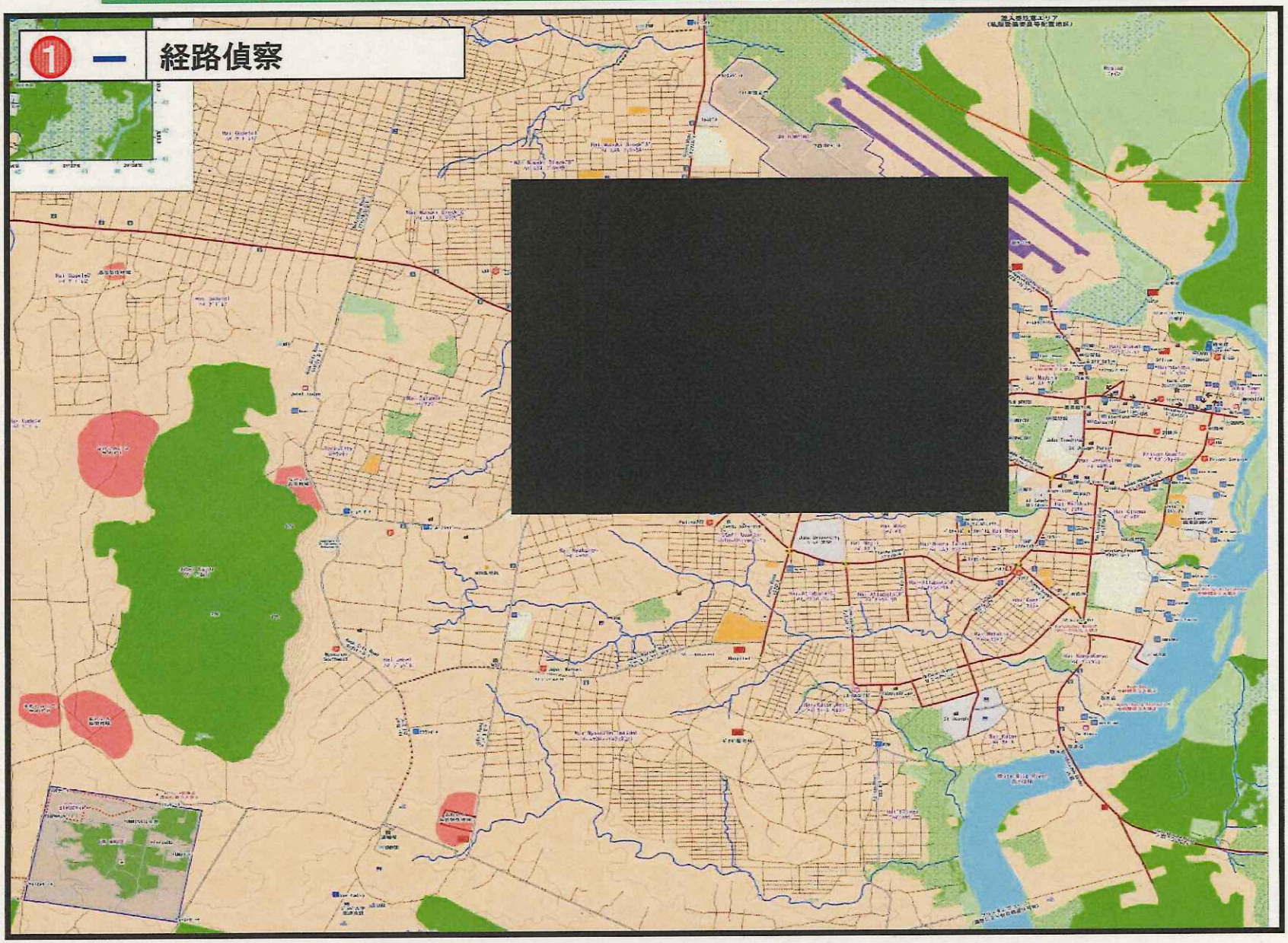
別紙第１－４

活動概要（ジュバ市内）（４／５）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部（Ｓ－２）	[redacted]	ジュバ市内	[redacted]	[redacted]	[redacted]
②	情　報	情報収集	情報班	[redacted]	ジュバ市内	[redacted]	[redacted]	[redacted]

別紙第１－５

活動概要（ジュバ市内）（５／５）



本日の活動成果

本日、施設活動なし

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
　別紙第３「情　勢」
　別紙第４「装備品等現況」
　別紙第５「患者受診状況」
　別紙第６「人員現況」
　別紙第７「総括（評価）」
(2)　活動命令
　別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
　別紙第９「視察・来隊予定」
　別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

別紙第３－１

情　勢（1／8）／Situation

凡例　青字：新規
赤字：評価

1　南スーダン全域の情勢

(1)　和平合意履行に関する情報
特異事象なし

(2)　和平合意不履行に関する情報
特異事象なし

(3)　その他入手した主要な情報資料

1 [redacted]

2 [redacted]

■　南スーダン国内では、政府当局による、市民団体への暴力や脅迫、資産の没収を通じた自由な発言の封鎖及び活動制限※が継続　　※　暫定憲法（2011年版）では、表現、集会、団結の自由が認められている

（１１日　U.S. Department）

→　７月のジュバクライシス以降、新聞社等報道メディアへの規制が活発になる他、市民への人権侵害が確認されており、暫定憲法による人権保護は効果的に機能していないものと思料
今後、憲法修正の焦点の一つとして、国際社会からも注視されるものと思料

情　勢（2／8）／Situation

別紙第３－２

凡例　青字：新規
赤字：評価

■　１０日、南スーダン石油大臣は、ユニティ州において１０月より新設石油生産施設の稼働を開始することを表明し、本件にスーダンも協力する模様

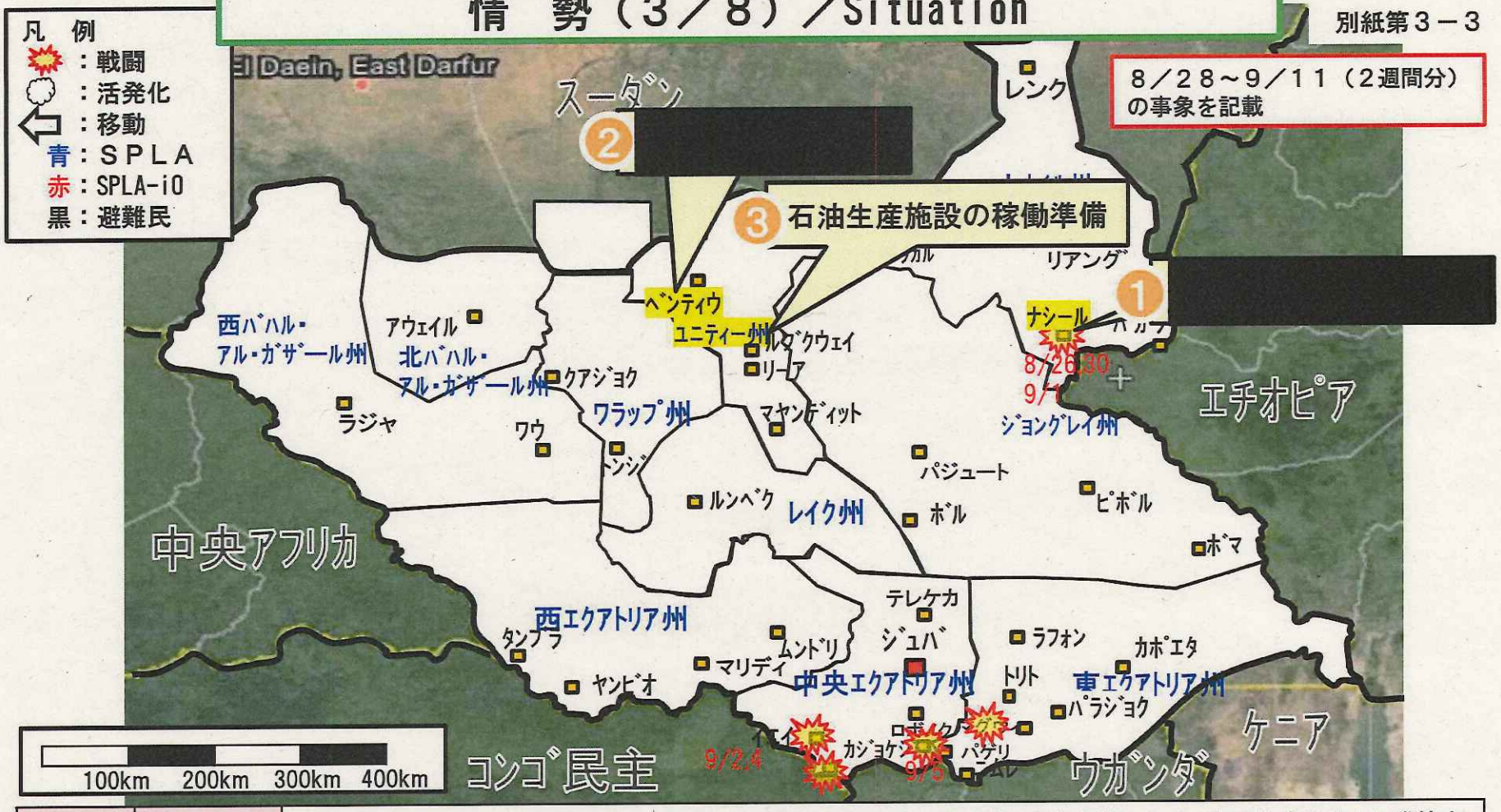
③

（１１日　Sudan Trinbune）

→　南スーダン年間国家予算の９８％は石油による歳入が占めているため、本件により石油生産が活発化した場合、国内経済に一定の回復が期待
また、石油の利権をめぐるＳＰＬＡ、部族等による争いが発生する可能性もあり注視が必要

別紙第３－３

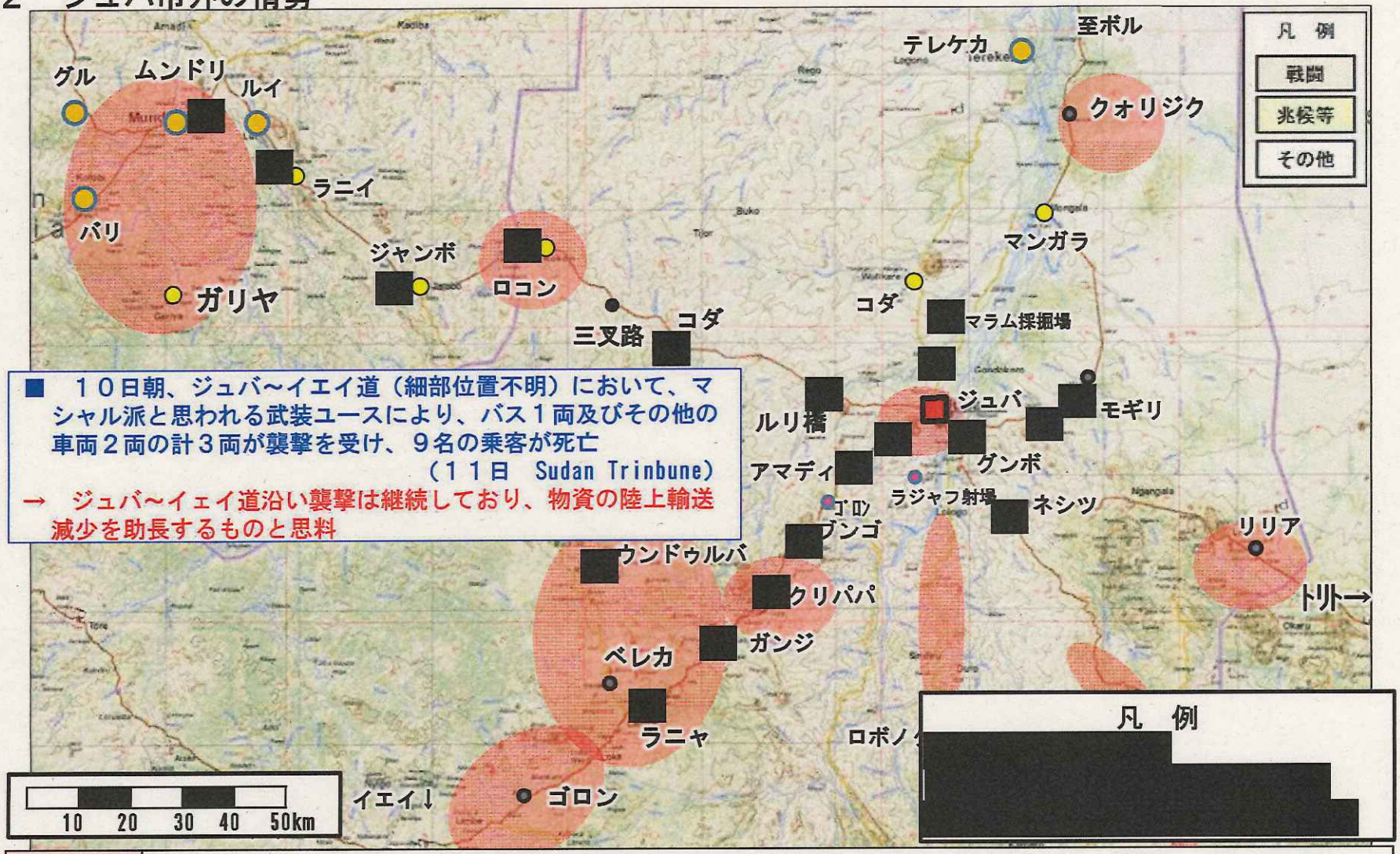
情　勢（３／８）／Situation



評　価	和平合意	和平合意は、キール大統領による第１副大統領及び暫定立法議会議長の指名等により、和平合意は徐々に進捗するものと思料。しかしながら、ＵＮＭＩＳＳの修正マンデートに対する反発が確認されるとともに、ＵＮがマシャル氏の輸送を支援したことから、デモ等の活動又はハラスメントが活発化する可能性。また、ジュバ市内、バハル・アル・ガザル、ジョングレイ州及びユニティ州において両勢力の内部分裂の動きが確認されており、ＳＰＬＡ－ｉＯ指導部の分裂が及ぼす影響について注視が必要である。加えて、ＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯ間の戦闘は小康状態であるものの、地域保護部隊の派遣に関する議論及びマシャル氏の動向を含めて注視が必要である。
	その他の事象	北部及び南部地方において、地元の者と思われる武装集団とＳＰＬＡ又は暫定政府との間で戦闘が生起しており、暫定政府及び新２８州制に基づく新州行政機関の治安統治能力は地方においては十分に発揮できていないため、報復及び一般犯罪は継続するものと思料

情　勢（4／8）／Situation

2　ジュバ市外の情勢



■　１０日朝、ジュバ～イエイ道（細部位置不明）において、マシャル派と思われる武装ユースにより、バス１両及びその他の車両２両の計３両が襲撃を受け、９名の乗客が死亡
（１１日　Sudan Trinbune）

→　ジュバ～イェイ道沿い襲撃は継続しており、物資の陸上輸送減少を助長するものと思料

評　価	ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせているものの、ジュバ郊外、特に南部においてＳＰＬＡ－ｉＯに関係しているとされる勢力との戦闘が確認されており、郊外での活動には重大な影響を及ぼすとともに、戦闘地域のジュバ方向への移動に注視が必要

情　勢（5／8）／Situation

3　ジュバ市内の状況

[redacted]

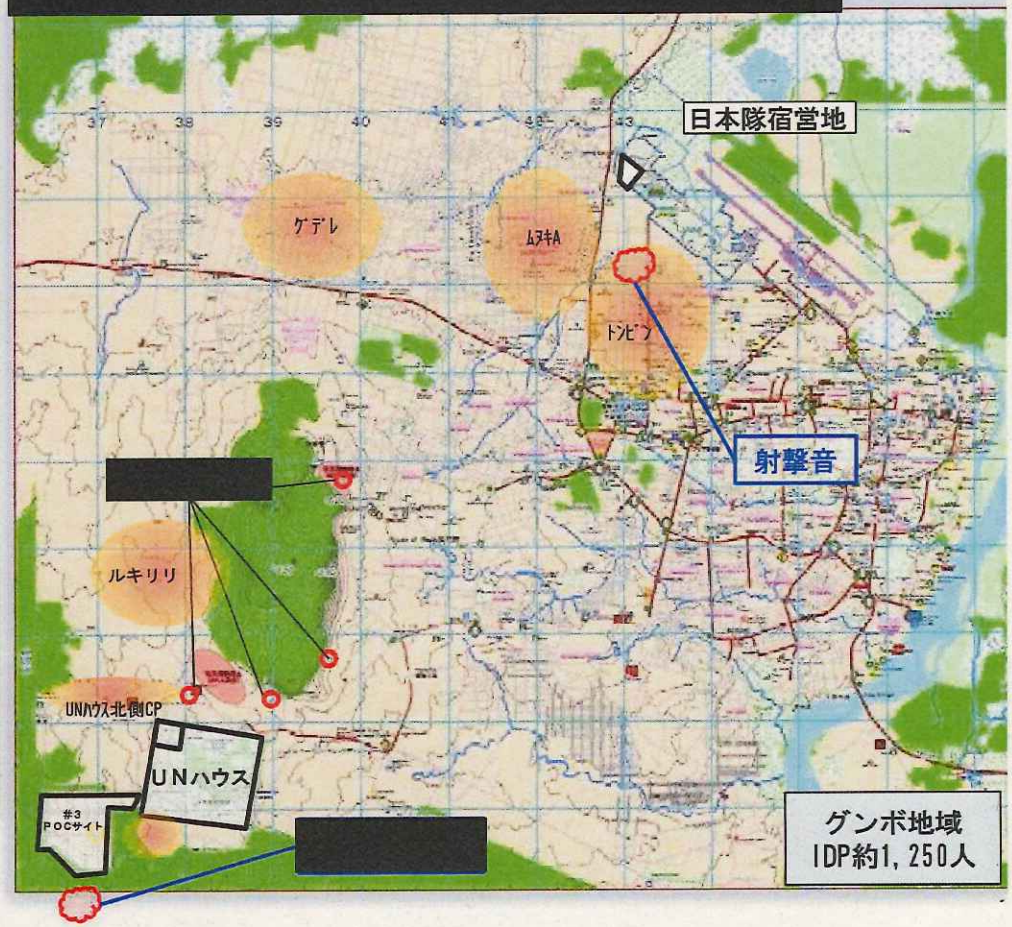
■　１１日０５２１頃、宿営地南側距離５００m以上、曳光弾３発を確認

（１１日　施設隊）

→　事態の継続がないことから、単発的事象であると思料

[redacted]

[redacted]

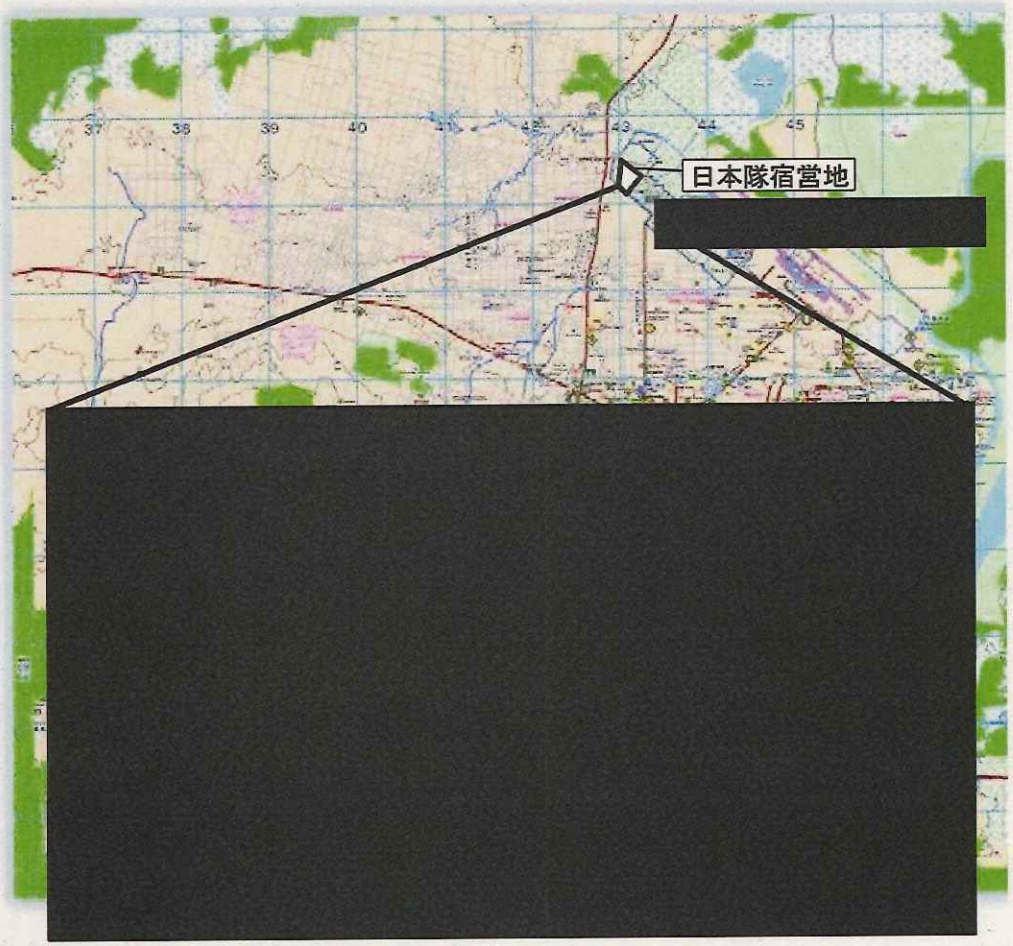


評　価	市内は一部平穏な状態に戻りつつあるものの、市民の生活は厳しく犯罪等は発生しやすい状態であり、夜間における宿営地周辺の射撃やＵＮハウス周辺の射撃による流れ弾に注意が必要

情　勢（６／８）／Situation

４　ＵＮトンピン内ＩＤＰの状況

■　本日ＩＤＰの移送なし

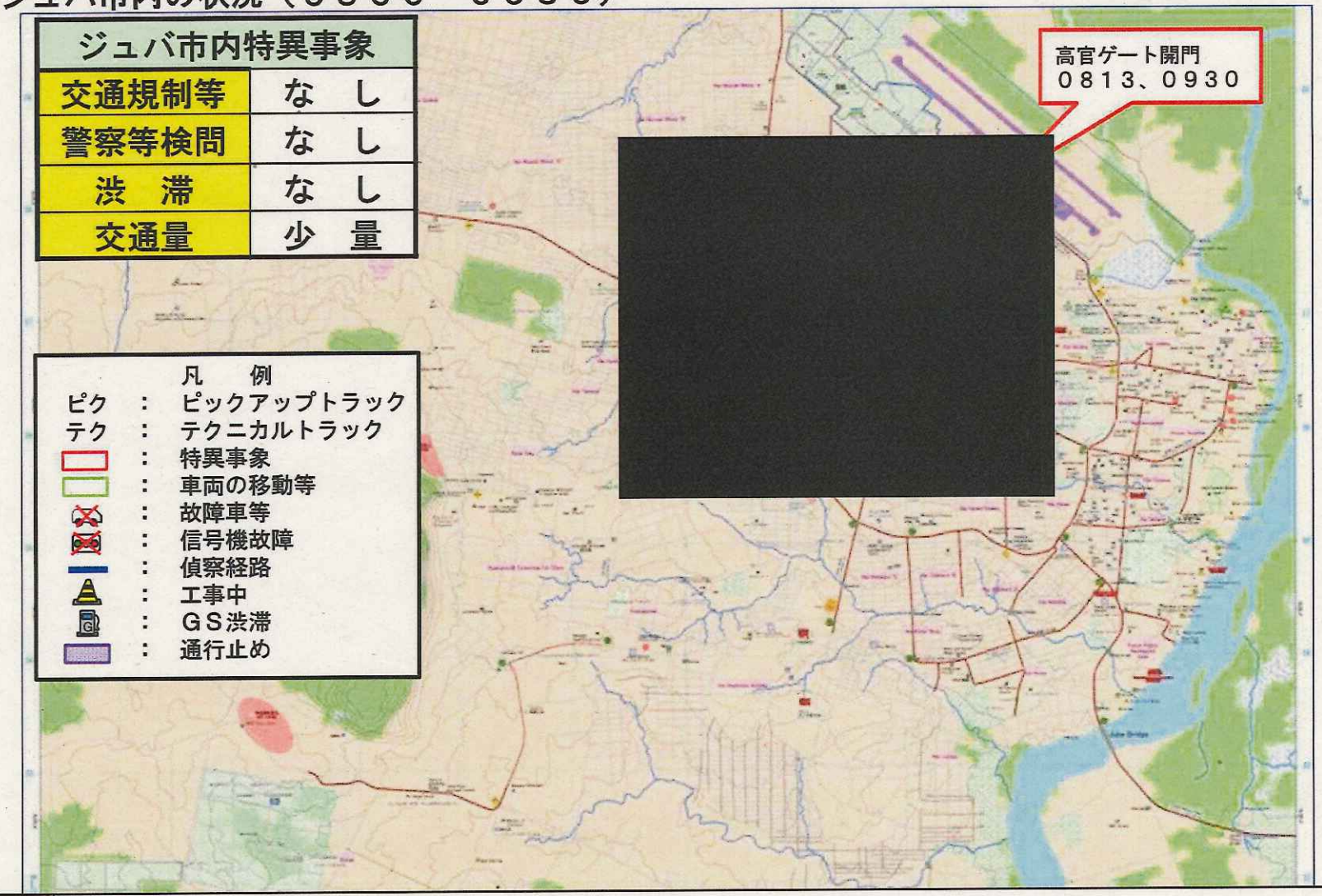


評　価	[redacted]及び水や食糧等を目的とした夜間の宿営地内への侵入等には注意が必要であるとともに、強制的なＩＤＰの移動に伴うＵＮＭＩＳＳ職員とＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれには注意が必要

情　勢（7／8）／Situation

5　ジュバ市内の状況（０８００～０９３０）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	少　量



評　価	高官ゲートが開門していたが、市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 平日に比し、交通量及び市民の移動は少量ではあったが、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（８／８）／Situation

４　気　象（０６００i）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	晴　れ	２３℃	４０℃	２５％	７４％	０㎜	
カンパラ	晴　れ	１５℃	３０℃	５２％	９７％	０㎜	

主要装備品等現況／Equipment Status

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	１００％ [redacted]	な　し	
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	

別紙第４－２

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

９月１１日１３００ｃ

区分		品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

別紙第４－３

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

[redacted] 喫食者数：323名（総員353名　事故33名（国連休暇32名）、監察官2名）

９月１１日１３００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	そ の 他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油(発電機)					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

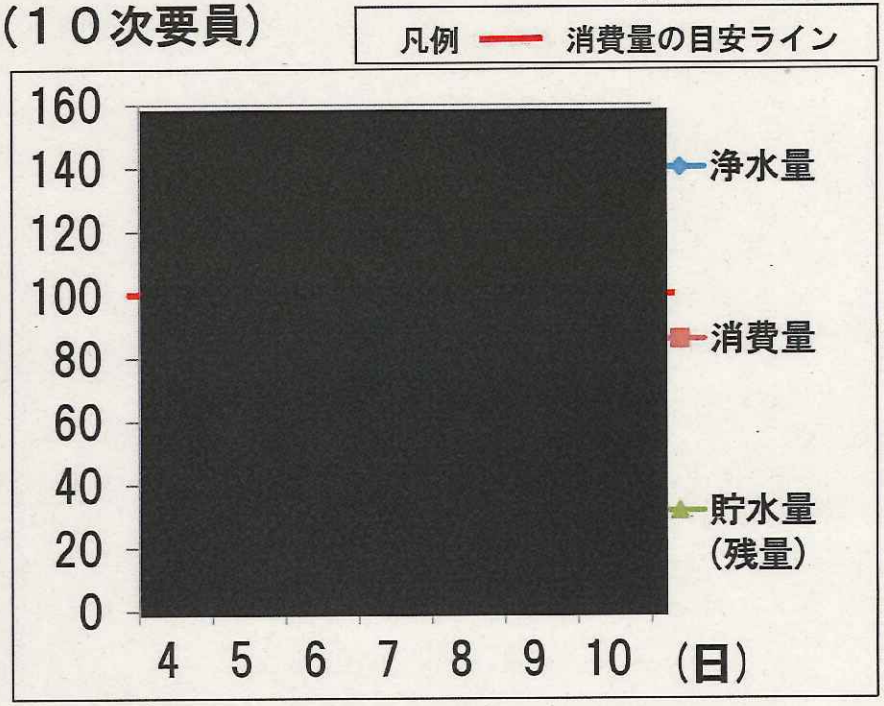
別紙第４－４

９月１１日１３００ｃ

第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

【H28.9】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
日	4	[redacted]		
月	5			
火	6			
水	7			
木	8			
金	9			
土	１０			



他国供給先（前日実績）		供給量
タスク	トランジット	1
タスク外	ネパールＦＰＵ	
	ネパール歩兵中隊	
	エチオピア大隊	
	バングラ河川隊	
合　計		1

【評　価】

第4井戸の復旧に伴い、取水量は安定傾向になってきている。再度、砂による埋没が発生する可能性があるため、継続的な節水は必要である。

※　貯水の危険水位：[redacted]

（注）日々の消費量が[redacted]を超える日が[redacted]続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

受診患者　　な　し

９月　１０日１８００ｃ
～９月　１１日１３００ｃ

所属等	傷病者数	疾患名	備考
な　し			

凡例：　（再）　→　再　診

別紙第６

９月１１日１８００c

人員現況／Personnel Status

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（ＵＮトンピン）	３５３	３２	３２１	国連休暇　３２名（９／８～１３）	国連休暇（ウガンダ国内）【１２名】９月８日（木）から９月１３日（火）まで【２０名】９月９日（金）から９月１４日（水）まで
ＣＲＦ監察来隊		２	０	２	○　ＣＲＦ監察官 立野１佐 ○ [redacted]（９／９～１２）	

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

凡例　青字：不在者　赤字：強調

別紙第７－１

総　括(Assessment)

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	ＩＤＰの侵入	8/5~バングラ大隊との間の道路夜間閉塞	[redacted]
		流れ弾	8/25, 31, 9/3, 7, 11 近傍での射撃（特に夜間）	
	ＵＮトンピン	反ＵＮデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ）	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	8/30 IDPとFPU、ｳｫｰﾘｱ等の小競合い	
		ＩＤＰに対する攻撃への巻き込まれ	[redacted]	
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	
		物品盗難	8/11, 30, 9/3, 5, 7, 8　窃盗犯の逮捕	
		疾病罹患	8/5, 30 ｺﾚﾗ患者は減少傾向	
	ＵＮハウス	反ＵＮデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ）	
		ＩＤＰの流入又は侵入	[redacted]	
		流れ弾、不発弾等		
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ		
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	7/19, 20, 27 食糧と女性の権利要求デモ	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	[redacted]	
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	

別紙第７－２

総　括(Assessment)

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント	[redacted] 8/18 UN報道官がUNがﾏｼｬﾙ氏の輸送を支援したことを発言 8/30 ﾐﾆｽﾄﾘｰﾛｰﾄﾞの通行に支障なし（ﾙﾜﾝﾀﾞ大隊） 8/31 UNMISSとのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ期限（高官車両の移動） [redacted] 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/13 国連事務総長による報告 9/15 治安部隊の再展開の実施及び検証支援の期限	[redacted]
		反ＵＮデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/29 地域保護部隊の任務等が不明な段階では同意できず 8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 8/31 UNMISSとのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ期限 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/2~5 安保理代表来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ）	
		流れ弾	8/12~Ｕ交差点で検問 [redacted]	
	ジュバ郊外（ﾛｺﾝ、ﾗﾆｬ、ﾄﾘﾄ、ﾏﾝｶﾞﾗ）	戦闘への巻き込まれ	[redacted]	
		ハラスメント	[redacted]	
		武装強盗への巻き込まれ		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	ＩＤＰの侵入	[redacted]	[redacted]
	流れ弾		
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰとの小競合い		
	ＩＤＰに対する攻撃への巻き込まれ		
	流れ弾		
	物品盗難		
	疾病罹患		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾、不発弾等		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント	[redacted]	[redacted]
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
ジュバ郊外活動（ﾛｺﾝ、ﾗﾆｬ、ﾄﾘﾄ、ﾏﾝｶﾞﾗ）	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	武装強盗への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、ＵＮハウス周辺での散発的かつ単発的な射撃の発生が確認されるとともに、ＩＤＰが火器を保有している可能性は否定できず、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。 また、９日朝のＵＮハウス北側での検問に対する射撃事案後の同日夜間にＰＯＣサイトのまた男性ＩＤＰが逃亡を図る等ＵＮハウス近傍のＳＰＬＡとＰＯＣサイト内ＩＤＰとの緊張が高まっている可能性があり、流れ弾等に注意が必要 ＩＤＰとの接触はコレラ等収束しつつあるものの疾病への罹患については引き続き注意が必要。 さらに、ジュバ市内においては昼間の治安は改善傾向にあるものの、一部地域で主に夜間に銃犯罪が発生していることから流れ弾に注意が必要であるとともに、ＵＮトンピン内ではＩＤＰが近傍に所在しており、作業間の盗難及びマシャル派とタバン派のＩＤＰの存在は確認されていないものの、発生した場合の巻き込まれには注意が必要 また、政府は地域保護部隊の受入を承認し、ＵＮＭＩＳＳマンデートの妨害の排除を約束したこと事から、ハラスメント発生の公算は低下するものと思料されるも引き続き注視が必要 ジュバ市内及び近郊のＳＰＬＡ施設が増強され始めたこと、コダ周辺でのＳＰＬＡ－ｉＯ勢力の存在から、イェイ道及びグデレ道沿いの戦闘には注視が必要

総　括

別紙第７－６

評　価 （総括）	・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は通行時に小競り合いへの巻き込まれに注意する他、ＩＤＰによる影響が小であり処置事項を徹底して活動可能 ・　ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性はあるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、移動時間、移動経路の指定など処置を事項を徹底して単車での活動可能 ・　ＵＮハウスにおける活動は、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、ＵＮハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護を準備するとともに不審者に対する警戒が必要 　また、イエイ道、グデレ道沿いでの戦闘の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要	
処置・対策	ＩＤＰの侵入	[redacted]
	ＩＤＰとの小競合い	
	物品の盗難	
	疾病罹患	
	流れ弾、不発弾対処	
	ＩＤＰデモ対処	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	
	ＩＤＰの侵入	

明日の活動命令
(Operations)

1　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy & Guidance)

2　視察・来隊予定　(Schedules of visitors)

3　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

９月１２日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮハウス地区及びＵＮトンピン地区給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮハウス地区西側外壁構築、メインゲート道路補修、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、ＭＯＶＣＯＮ駐車場整地、イード・アル・アドハ会場天幕撤収を実施する。

　この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びイエイ道、グデレ道沿いでの戦闘状況を注視するとともに、ＵＮハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)ア　活動警備レベル（基準）

(ｱ)　ＵＮハウス地区

ａ　メインゲート　レベル[redacted]（メインゲートの外柵外は、レベル[redacted]

ｂ　ハウス西側外柵沿い　レベル[redacted]

ｃ　＃１ＰＯＣサイト南側　レベル[redacted]

ｄ　ハウス南側弾薬庫地域　レベル[redacted]

(ｲ)　ＵＮトンピン地区

ａ　メインロード旧ＩＤＰゲート西側　レベル[redacted]

ｂ　ルワンダ歩兵大隊地域　レベル[redacted]

ｃ　その他　レベル[redacted]

(ｳ)　ジュバ市内

ａ　空港地区　レベル[redacted]

ｂ　ｚｏｎｅ１（ジュバナバリ）レベル[redacted]（メインゲート広場は、レベル２）

ｃ　ｚｏｎｅ２（ハイアラマット）　レベル[redacted]

ｄ　ｚｏｎｅ３（ハイニムラタラタ）　レベル[redacted]

イ　宿営地警備　[redacted]、[redacted]

３(1)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）
ア　１名をイード・アル・アドハ会場天幕撤収班に差出
イ　Ｐｔ（－）
ＵＮトンピン地区退避壕構築及びＭＯＶＣＯＮ駐車場整地、状況によりＵＮトンピン地区給油所西側ケーブル埋設等、臨時工兵課タスクの実施

(2)　１ＥＰｔ（第１施設小隊）
ア　１名をイード・アル・アドハ会場天幕撤収班に差出
イ　Ｐｔ（－）
ＵＮハウス地区メインゲート道路補修

(3)　２ＥＰｔ（第２施設小隊）
ア　１名をイード・アル・アドハ会場天幕撤収班に差出
イ　Ｐｔ（－）
ＵＮハウス地区西側外壁構築

(4)　３ＥＰｔ（第３施設小隊）
ア　１名をイード・アル・アドハ会場天幕撤収班に差出
イ　Ｐｔ（－）
ＵＮハウス地区弾薬庫増設

(5)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）
宿営地警備、同行警備、巡回警備及び[redacted]

(6)　ＨＱＵ（本部付隊）
ア　２名をイード・アル・アドハ会場天幕撤収班に差出
イ　ｕ（－）
宿営地維持・管理活動、ＵＮハウス地区・トンピン地区給水活動及び[redacted]

(7)　ＭＩＳｅｃ（情報班）
ジュバ市内及びＵＮトンピン地区における情報収集

(8)　ＧｕａｒｄＳｅｃ（警護班）
隊長、副隊長及び来隊者警護

(9)　ＭＰＳｅｃ（警務班）
経路偵察及び[redacted]

(10)　イード・アル・アドハ会場天幕撤収班
＋２名／ＨＱｕ、２名／ＥｑＰｔ、１名／１ＥＰｔ、１名／２ＥＰｔ、１名／３ＥＰｔ

ア　長　渉外幹部

イ　イード・アル・アドハ会場における天幕撤収を実施

別紙第８－４

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区 退避壕構築	器材小隊	０８００～ １６００	ＵＮトンピン	１５	小型×1、中型×1 油圧×1、特大型×3 ロードローラ×1	[redacted]
②		ＭＯＶＣＯＮ駐車場整地	器材小隊	０８００～ １６００	ＵＮトンピン	１０	小型×1、バケット×1 特大型×1、グレーダ×1 油圧×1	
③	その他	ｲｰﾄﾞ・ｱﾙ・ｱﾄﾞﾊ 会場天幕撤収	隊本部 （Ｓ－１）	０８００～ １０００	ＭＳＡ１	７	大型×1	
④		給　水	補給班	０８００～ ０９００	トランジット	３	給水車×1、小型×1	
⑤	その他	給　水	補給班	０９００～ １２００	ネパールＦＰＵ	３	給水車×1、小型×1	
⑥	情　報	情報収集	情報班	[redacted]	ＵＮトンピン内	[redacted]		
⑦	その他	業務調整（連絡）	隊本部 （Ｓ－３）	０９３０～ １２００	ＵＮトンピン内	１		
⑧	その他	業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０８００～ １６００	ＵＮトンピン内	６	小型×1	
⑨		広報活動	隊本部 （広報）	０８００～ １６３０	ＵＮトンピン内	２	小型×1	
⑩		バングラ工兵中隊昼食会	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３） （広　報）	１２２０～ １４００	バングラ工兵中隊	６	ランクル×2	
⑪		バングラ河川隊昼食会		１２５０～ １５００	バングラ河川隊	６	ランクル×1	
⑫		巡回警備	警備小隊	[redacted]	ＵＮトンピン内全域	[redacted]		

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－５

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）

⑥	情報収集
⑨	広報活動
⑫	巡回警備

別紙第８－６

活動概要（ＵＮハウス地区）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	メインゲート道路補修	１小隊	０７４５～１６３０	ＵＮハウス	２３	高機×3、大型×2 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	[redacted]
②		ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０７４６～１６３０	ＵＮハウス西側	２１	高機×3、大型×2 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
③		ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７４７～１６３０	弾薬庫	２０	高機×1、大型×5 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
④	その他	給水活動	補給班	０７４８～１２００	ネパールＦＰＵ	２	給水車×1	
⑤		業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０７４８～１２００	工兵課	３	高機×1 ※　水、食糧1日分携行	
⑥		広報活動	隊本部（広　報）	０７４８～１６３０	ＵＮハウス	２	高機×1	

凡例　□　ＵＮタスク

活動概要（ＵＮハウス地区）（４／７）

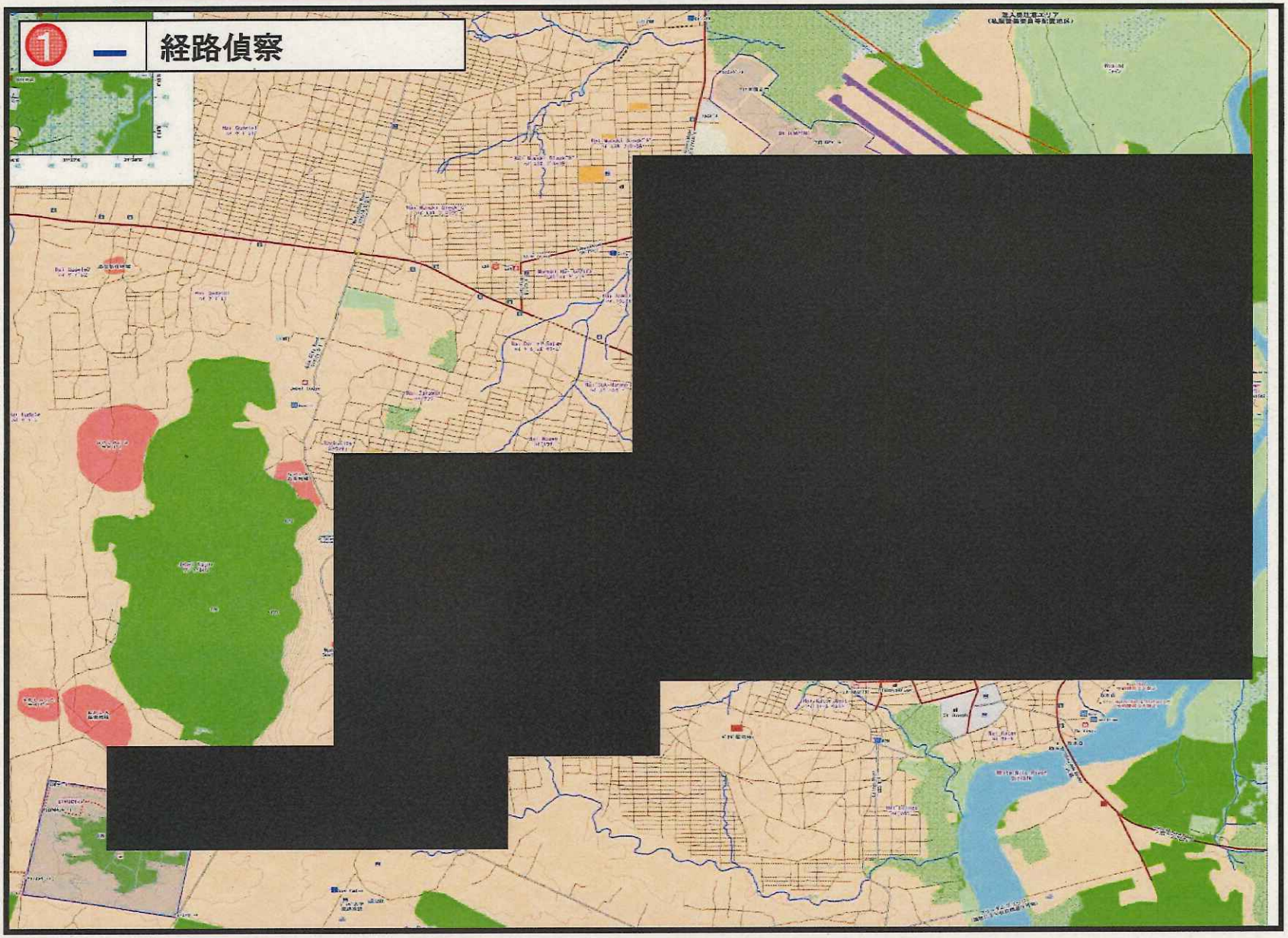
別紙第８－８

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２） (警務班)	[redacted]	ジュバ市内	[redacted]	[redacted]	[redacted]
②	その他	情報収集	情報班	[redacted]	ジュバ市内 ＵＮトンピン	[redacted]	[redacted]	[redacted]
③		空港端末地業務 （ＣＲＦ監察官送迎）	隊本部 （Ｓ－４）	０７５０～ １０３０	ジュバ空港	１１	小型×3、ランクル×1	[redacted]
④		業務調整 空港撮影申請	隊本部 (広　報)	１３３０～ １６００	情報放送省 ジュバ空港	２	高機×1	[redacted]

別紙第８－９

活動概要（ジュバ市内）（６／７）



経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）

凡　例	
━━	経路偵察

別紙第９

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
	○　ＣＲＦ監察官 立野　１佐 ○　ＣＲＦ副監察官 [redacted]	９月１２日まで滞在

隊長、副隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM	課業外
隊　長	[redacted]		
ＣＲＦ 監察官			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

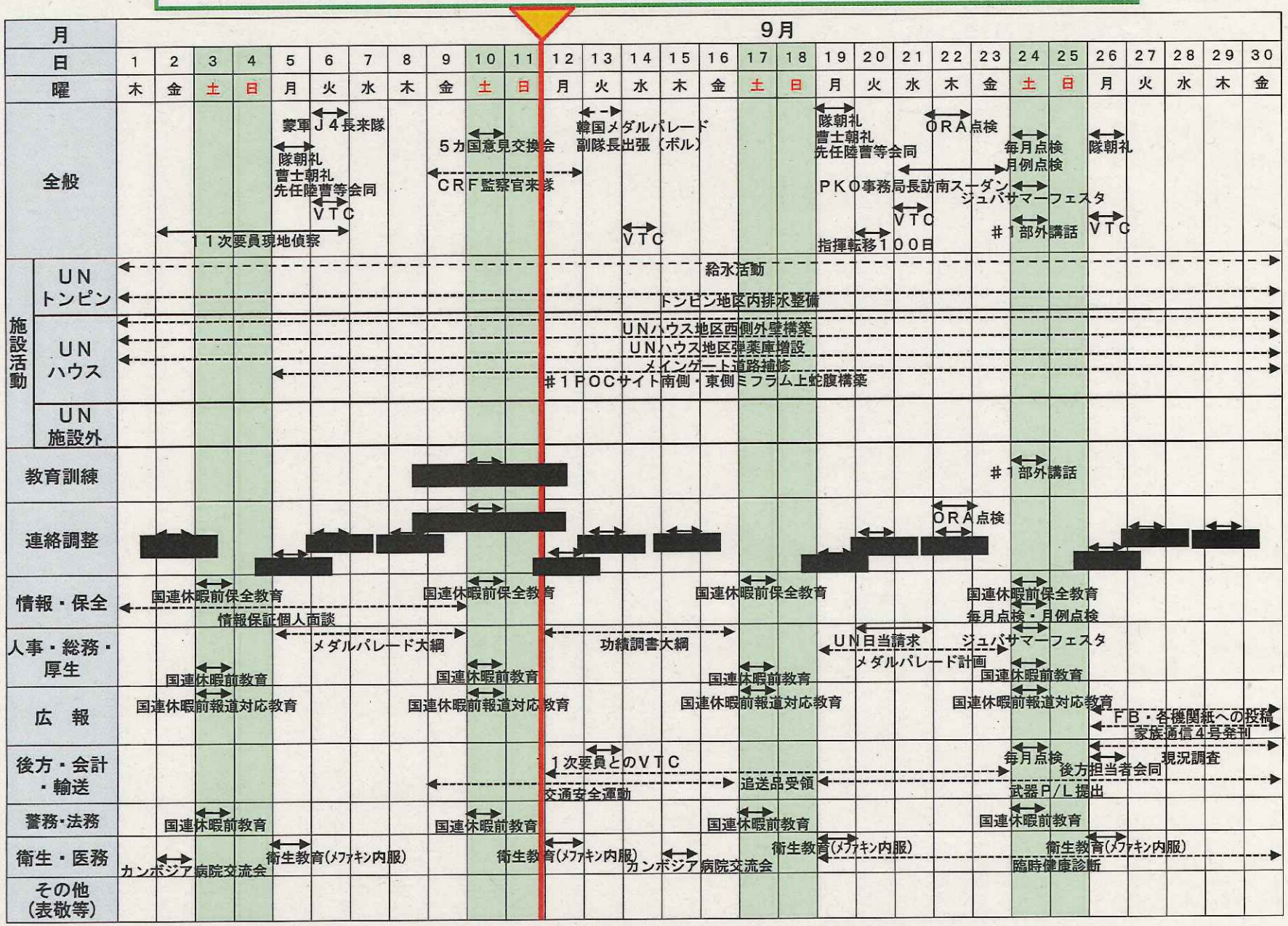
	AM	PM	課業外
副隊長	[redacted]		
最先任上級曹長			

３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

９月　月間業務予定

別紙第１１－１



赤字：変化事項
青字：隊長関連

週間活動予定（9／11～9／17）第40週

別紙第11－2

日	9／11	9／12	9／13	9／14	9／15	9／16	9／17
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

赤字：変化事項
青字：隊長関連

週間活動予定（９／１８～９／２４）第４１週

別紙第１１－３

日	９／１８	９／１９	９／２０	９／２１	９／２２	９／２３	９／２４
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

別紙第１２

連携案件等情報

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練「＃4さくらPJ」	MTC	実施の可否について再検討	MTC JICA	JICA帰国に伴いじ後の予定未定	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	・JICA ・大日本土木	CRFにおいて実施の可否について検討中	CRF JICA	CRFにおいて実施の可否を検討中	
2	国際機関等連携案件	UNOPS水質調査支援 （日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼）	UNOPS （大使館）	●工兵課からタスク発出済み	UNOPS （※） （大使館）	● UNOPSに状況確認中	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　ー：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（１０～１１日）ジュバ／Weather JUBA

昨日からの総雨量

総雨量
0. 1mm

日(曜) Date		１０日（土）						１１日（日）	
時　Hrs		6～9	9～12	12～15	15～18	18～21	21～24	0～3	3～6
主要な活動		監察官来隊							
						UNの基盤整備			
		国連休暇（２Ｇｐ）							
Juba	天　気								
	気温(℃)	２９	３４	３７	３３	２９	２３	２２	２１
	体感気温(℃)	３３	３６	３９	３８	３１	２５	２５	２１
	降水確率	４０％	０％	８０％	８０％	８０％	１０％	０％	３０％
	雨量	0mm	0mm	0mm	1mm	0mm	1mm	0mm	0mm
	風向	東北東	北北東	北北東	西	北北東	南	南南西	南
	風速	1	1	1	0	1	2	2	2
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		１１日（日）	１２日（月）	１３日（火）	１４日（水）	１５日（木）
主要な活動		監察官来隊				
			ＵＮの基盤整備			
		国連休暇（２Ｇｐ）				国連休暇（３Ｇｐ）
Juba	天　気					
	気温(℃)	４０／２２	４１／２３	４０／２２	４０／２２	３９／２２
	降水確率	０%	５０%	４０%	５０%	４０%
	雨量	０mm	３mm	０mm	５mm	１０mm
	評価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	３１／１６	３０／１７	３３／１８	３４／１７	３６／１６
	降水確率	０%	０%	０%	３０%	２０%
	雨量	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm

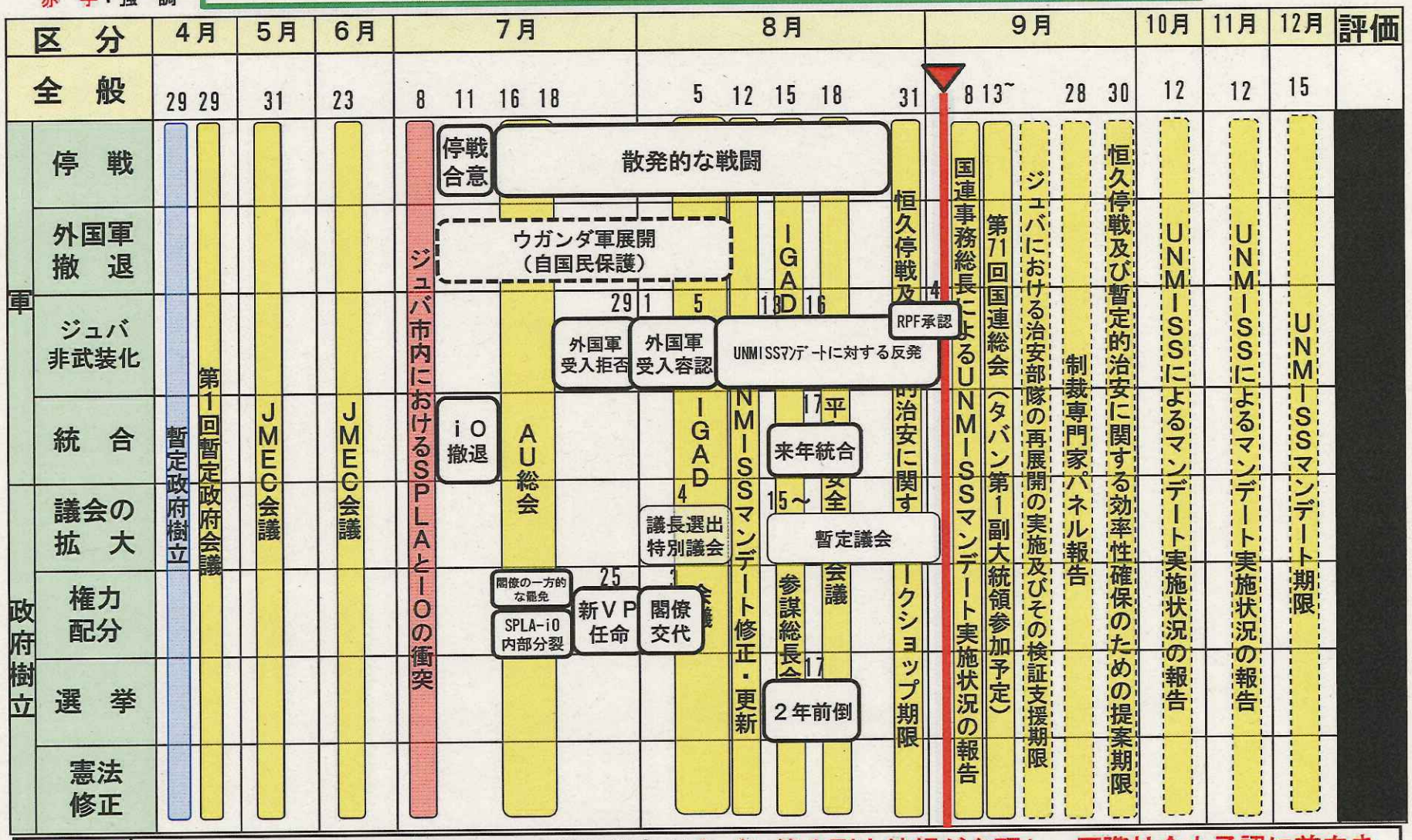
凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバについては、日々天候が変化する見込みであり、屋外での活動に一時的に制限を受ける可能性 2　ウガンダは、晴天が持続する見込みだが、突然の雷雨等には注意が必要

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節



評　価	和平合意については、マシャル氏に代わりタバン第１副大統領が台頭し、国際社会も承認に前向きな姿勢を見せていることから、引き続き進展するものと思料 また、地域保護部隊に関し、南スーダン政府は受け入れを承認したため、今後、具体的な派遣の形態に関する議論が実施されるものと見積もられ、今後の政府側及びＳＰＬＭ－ｉＯ側の動向には引き続き注視が必要

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015. 8 ▼ 2016. 7 2018

安定 ↑ 不安定

和平合意

合意履行状況

暫定政府 → ジュバ戦闘 → 政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化（我の移動制限）
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- ＳＰＬＡと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部隊状況（２０１６年９月８日現在）

[redacted]

エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]本部ジュバ)

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
([redacted]:本部ジュバ)

中国
歩兵大隊([redacted])
(本部:ジュバ)

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]本部ジュバ)

航空部隊[redacted]
(本部ジュバ)

インド
通信部隊(本部ジュバ)
燃料部隊(本部ジュバ)

日本
施設部隊
(約350名:本部ジュバ)

バングラデシュ
施設部隊:[redacted](本部:ジュバ)
河川部隊:[redacted](本部:ジュバ)

カンボジア
憲兵隊:(本部:ジュバ)
医療部隊:(本部:ジュバ)

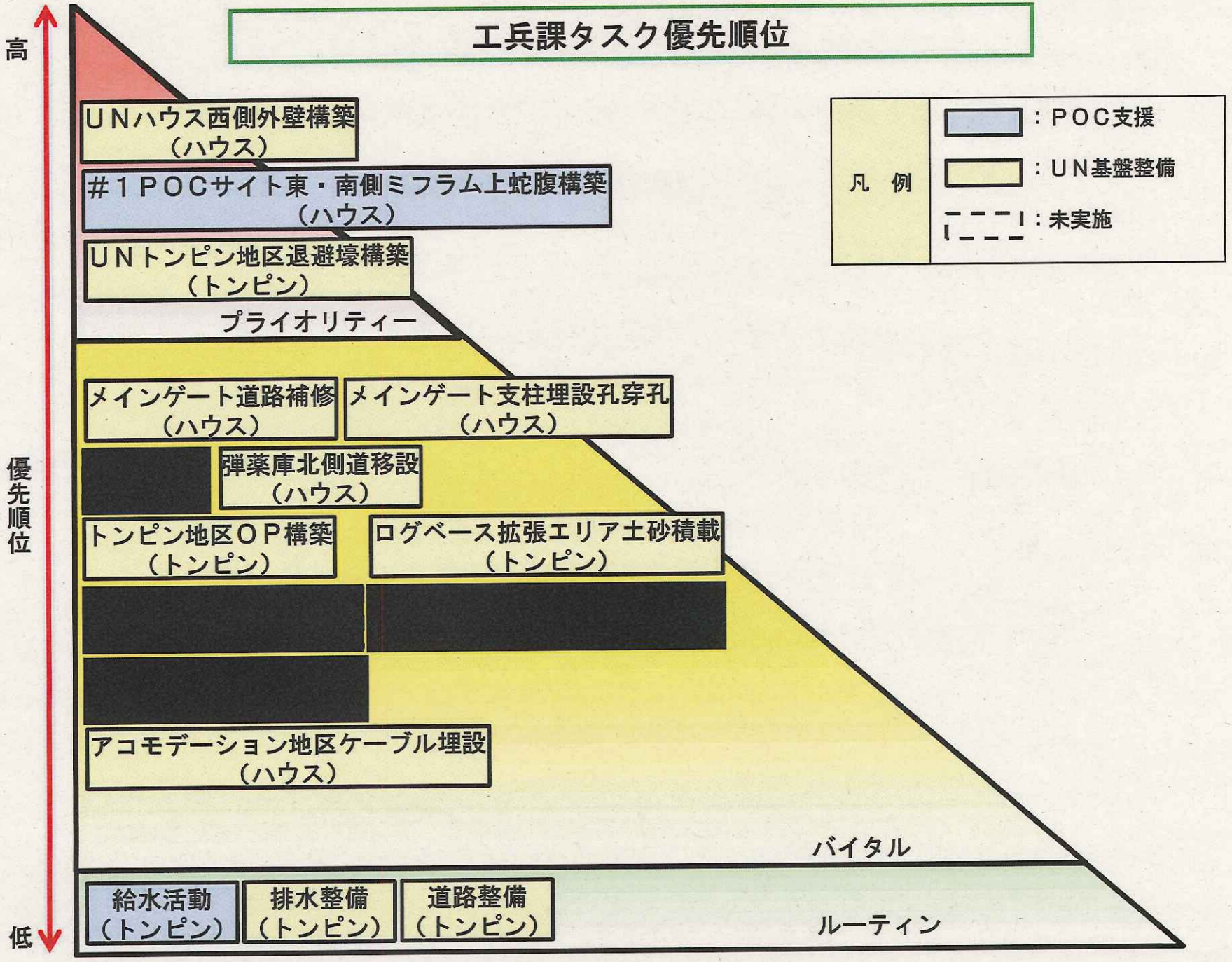
インド
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]ジュバ

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]ジュバ

=増派部隊

=後方支援部隊

工兵課タスク優先順位


高
優先順位
低
UNハウス西側外壁構築
（ハウス）
#1POCサイト東・南側ミフラム上蛇腹構築
（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築
（トンピン）
プライオリティー
メインゲート道路補修
（ハウス）
メインゲート支柱埋設孔穿孔
（ハウス）
弾薬庫北側道移設
（ハウス）
トンピン地区OP構築
（トンピン）
ログベース拡張エリア土砂積載
（トンピン）
アコモデーション地区ケーブル埋設
（ハウス）
バイタル
給水活動
（トンピン）
排水整備
（トンピン）
道路整備
（トンピン）
ルーティン
凡　例
：POC支援
：UN基盤整備
：未実施

９月１１日タスク等現況（１／２）

凡　例	：ＰＯＣ支援	：インフラ整備	：ＵＮ基盤整備	：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	ＰＯＣ支援	1	ＵＮハウス地区西側外壁構築	ＵＮハウス	ミフラム構築	実施　１０．１％ 計画　８．５％				
492	ＵＮ基盤整備	3	ＵＮトンピン地区退避壕構築	ＵＮトンピン	退避壕構築	計画作成中				工兵課の指示待ち
398	ＵＮ基盤整備	4	メインゲート道路補修	ＵＮハウス	ＲＣによる道路補修	実施 計画				
470	ＵＮ基盤整備	5	弾薬庫北側道路移設	ＵＮハウス	道路移設	実施 計画				工兵課の指示待ち
494	ＵＮ基盤整備	6	ログベース拡張エリア土砂積載	ＵＮトンピン	土砂積載	実施 計画				
476	ＵＮ基盤整備	7	トンピン地区ＯＰ構築	ＵＮトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示待ち
397	ＵＮ基盤整備	8	メインゲート支柱埋設孔穿孔	ＵＮハウス	埋設孔穿孔	実施 計画				工兵課の指示待ち
333	ＵＮ基盤整備	9	アコモデーション地区ケーブル埋設	ＵＮハウス	埋設溝掘開・埋設	実施 計画				工兵課の指示待ち
325	ＵＮ基盤整備	１０	給水活動	ＵＮトンピン	給　水					
471	ＵＮ基盤整備	１１	排水整備	ＵＮトンピン	排　水					
459	ＵＮ基盤整備	１２	道路整備	ＵＮトンピン	道路整備					

９月１１日タスク等現況（２／２）

凡　例		：ＵＮ基盤整備

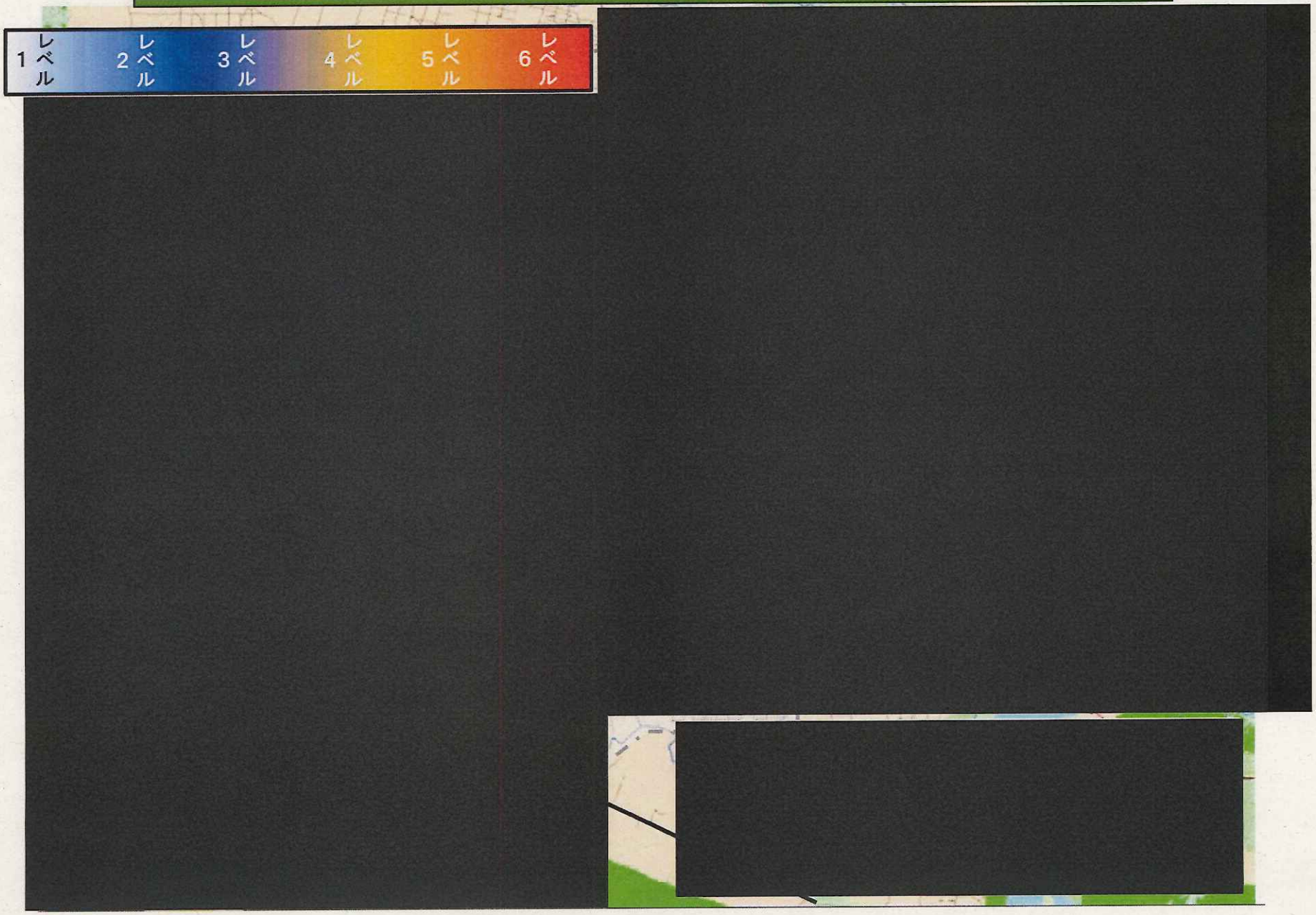
２　未実施

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
455	ＵＮ基盤整備		[redacted]	ＵＮハウス	[redacted]		[redacted]			
456	ＵＮ基盤整備			ＵＮトンピン						
469	ＵＮ基盤整備			ＵＮハウス						
495	ＵＮ基盤整備			ＵＮトンピン						

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
４９５ （４７９）	プライオリティー	１４	
	バイタル	５６	
	ルーティン	３	
	計	７３	
		完　了	５８
		実施中	１１
		未実施	４

地域脅威レベル評価（９月１２日）

16. 9. 9現在



警備実施基準（宿営地外警備）

レベル	UNMISS 警報	事案事象（基準）		警 備	使用車両	車両運行	通 信	携行資材基準
		UNMISS SOP	CRF					
[redacted]								
適 用								

隊員服装・装備等基準

区　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考			

警備の態勢（[redacted]）（9/11現在）

[redacted]

警備の態勢（[redacted]）（9/11現在）

[redacted]

監察官　全般日程

月日（曜）	司令官の行動
９月９日（金）	[redacted]
９月１０日（土）	
９月１１日（日）	
９月１２日（月）	